

令和元年5月30日

## これぞ江戸の粋！！ 花菖蒲が見頃です

京都府立植物園では、花菖蒲が見頃になりました。

ハナショウブは、東北地方に自生している花色などが違う変異株をもとに選抜・改良がなされ、江戸時代に発展した伝統園芸植物です。その草姿や花型は育成地ごとに異なります。高性で群生美が美しい「江戸系」や大輪咲きで豪華な「肥後系」、花が縮れ垂れて咲く「伊勢系」などの独特の系統が生まれています。植物園では、それら3系統の他、野生種のノハナショウブやヨーロッパなどに分布するキショウブを交配親として誕生した黄花の品種など、併せて約200品種10000株を植栽・展示しています。

植物園でしか見られないハナショウブをぜひご覧ください。

### ハナショウブ

科 名： アヤメ科  
学 名： *Iris ensata var. ensata*  
原 産 地： 日本、朝鮮半島、  
中国東北部、シベリア  
東部に分布。

